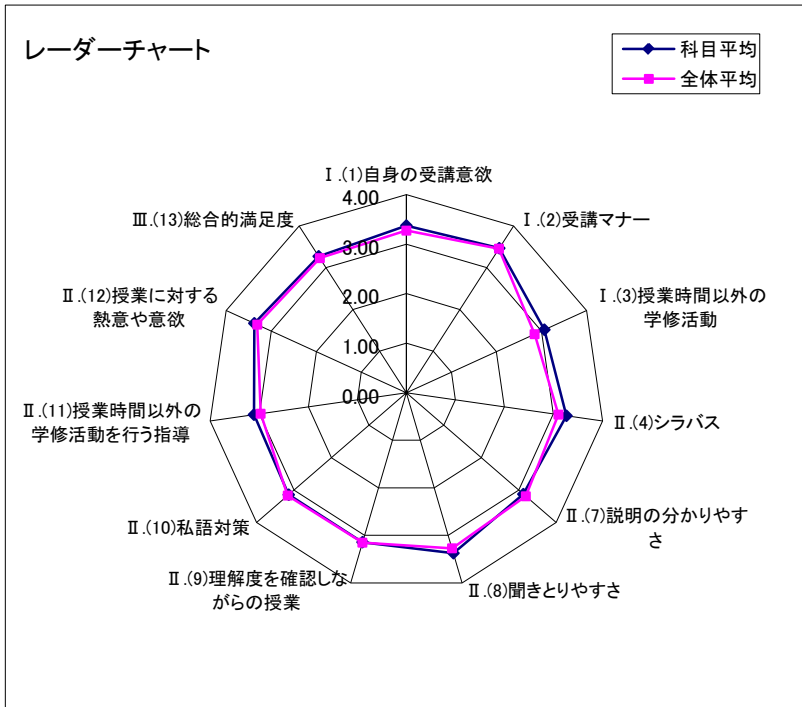
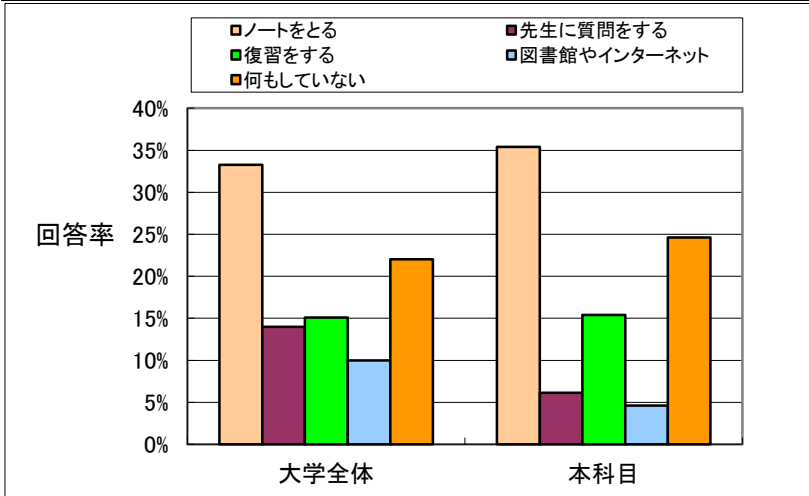


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	0.35	0.06	0.15	0.05	0.25



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.38	3.27
	I.(2)	3.47	3.46
	I.(3)	3.06	2.85
講義内容・方法	II.(4)	3.27	3.10
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.13	3.19
	II.(8)	3.38	3.27
	II.(9)	3.14	3.15
	II.(10)	3.14	3.17
	II.(11)	3.11	2.97
	II.(12)	3.38	3.31
	総合評価	III.(13)	3.27

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.30	3.19
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.22	3.17
II.(4)~(12)		
総合評価	3.27	3.23
III.(13)		

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度 前期
時間割番号	1430
科目名	簿記の仕組みとビジネス・会計入門
教員名	

①授業計画の達成度について  
 本科目は現実社会における会計を理解するため、簿記の基礎知識の習得から会計学を理解するための授業である。主に実務で使用される会計用語や簿記システムについての講義であったが、雑誌や新聞記事からの問題を交えた多くの資料のプリントを配布した。この結果が総合評価の数字に表れたものと思われ、授業の目的は達成されたと思われる。毎回講義内容についての小テストを実施したり、理解度を調べるためによくアンケートを取ったり、学生との対話を心がけたことも授業運営に良い貢献をしたと思われる。

②授業の進め方について  
 マイクを用い、大きな声で明瞭に説明したことが「聞き取りやすさ」の数字に現れていると思われる。これは学生の理解度を意識しながら進めたので、かなり満足度していると思われる。まじめな学生は留学生に多く、学生の表情を見ながら言葉を言い換えるなどして授業を進める等したことは、日本の学生の理解にも功を奏したと思われる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について  
 設問の数字が概ね全体の平均を上回っており、普段から学生の授業の印象を聴取していると思われる。学生に対しては出席を継続することを要求したことも良かったと思われる。またかなり多数を占める運動部に属する学生に対するためには、本学独自の事情をより分析・理解し、組織的に教員間で検討する必要がある。毎回の授業において、学生の意見を聞きながら授業を改善して。特に全員に配布されている教科書を教室に持参しない運動部の受講生対策は今後も重要である。